

第3次つるが男女共同参画プラン「令和2年度年次報告書」

評価コメント一覧

基本目標1 人権を尊重した男女共同参画の意識をつくる（年次報告書 4～17ページ）

- ・ 様々な人権やジェンダー問題に対し、学校、教育を通じ意識の改革を行っていることは大変素晴らしく、今後も進めていかなければならない。
- ・ お互いに人権を尊重しましょうと言うが、権利と義務はセットである。しかし、権利ばかりを主張し、他者の権利を尊重することや、権利に伴う義務については忘れてしまっているように見受けられるケースがあり、人権の濫用が懸念される。人権の理解についても考えていく必要がある。
- ・ パートナーシップ制度を導入している自治体もあるが、市民対象講座でLGBTQをテーマとして開催されたように、まずはLGBTQの認知や理解を深めていく啓発活動から始めていただけるとよい。
- ・ DV関連の相談業務においては、各機関と連携し、今後とも被害者に寄り添う支援・救済を継続していただきたい。

基本目標2 男女共同参画のための生活環境を整える（年次報告書18～37ページ）

- ・ 令和元年度は女性区長が2名だったが、令和2年度に1名となった。女性参画について時間をかけて変わっていきけるとよい。
- ・ 市民アンケートでは、町内会に女性の参加が増えているとあり、一層の女性参画が必要である。
- ・ 男性の家事・育児支援講座のように場や機会を増やすことは、大変素晴らしい取り組みである。参加したい男性や考えを持っている若い方が増えていると感じる。若い人の教育に力を入れていただきたい。
- ・ 地域推進員研修会において、防災ママの講座を実施しているが、YouTubeの利用がよかった。一般公開でありもっと市民に広報するため、婦人会等地区団体へも呼びかけるとよい。
- ・ 若い世代への教育が大切であり、高校生による啓発活動を継続していただきたい。家事は男女区別なく行うものとして考え方を考えるためにも身近な問題点を捉えることが大切である。
- ・ 高齢者の避難では隣近所の助け合いや避難できる体制づくりが大切であり、女性視点を取り入れるためにも女性区長が必要である。
- ・ 男女共同参画と防災を考える場合、切り離して考えるのではなく、男女共同参画はすべてに関わることを考える。避難所において、防犯や着替え等、男性にはわかりにくいこともあり、男女のニーズの違いや双方の視点に配慮する必要がある。女性も参画し、女性の意見を反映できるようにしていけるとよい。
- ・ 家事など家庭の役割分担においては、育児・介護があつたりと各家庭により状況は異なっている。理解してくれるかどうか、状況を知る、気づくことが大事である。

第3次つるが男女共同参画プラン「令和2年度年次報告書」

評価コメント一覧

基本目標3 男女共同参画のための仕事環境をつくる（年次報告書38～49ページ）

- ・ 男性の育児休業制度について、市役所は他事業所の取り組みの手本として、明確に示す。上司が職員に声掛けすることも大切である。嶺南も女性が就労しないと就労人口も減少するため、事業所が優秀な人材を集めるためにも取り組みを早期に実現していただきたい。一般市民へもわかりやすく啓発することなども重要である。
- ・ 男性の育児休暇制度について、無給扱いを有給扱いにするなど制度を変えて取り組んでいる事業所もある。対象者には上司を経由して個別にお知らせし、取ってよいということを本人に認識してもらうことで、取得率が上がった事例があった。
- ・ 男性の育休、時短勤務対象者において、早く帰り家事等を手伝いたいという声があり、仕事の整理・相談をしようという方も出てきている。
- ・ 子育て日本一の実現のためにも育休を取得する男性に対し理解をもち、男性も育児に関わることを期待する。

基本目標4 男女共同参画の視点を取り入れた推進と進行管理の体制を構築する（年次報告書50～60ページ）

- ・ 市民活動は女性の割合も高く、活動を通して女性が多くを学んでいる。よく気がつき行動力もある女性も多く、あらゆる分野でもっと女性を登用していただきたい。女性は素地を持っており、力をつけるよう育成していただきたい。
- ・ 女性管理職を経験した者として、やってよかった、やりがいを感じた。役職が人を育てると言われ、女性がその喜びを知らずに一生を終えることがないように、女性の登用をお願いしたい。
- ・ 男女共同参画に関する研修会等の参加者が増えるよう工夫し、広く啓発することが重要である。組織、グループでは学ぶ機会もあるが、家庭や地域の中ではいかに学ぶ機会を作り出していくか、が重要である。
- ・ 日本のジェンダー・ギャップ指数2021が世界120位（156か国中）と低いことからわかるように、より一層男女共同参画の意識を高める必要がある。
- ・ 男女共同参画の推進にあたり、頭では大切だな、と思っけていても何を推進するか、どのような行動が望ましいか、よくわからない部分がある。具体的な行動指針、事例を示し、啓発をしていくとよい。